

保護者の皆様

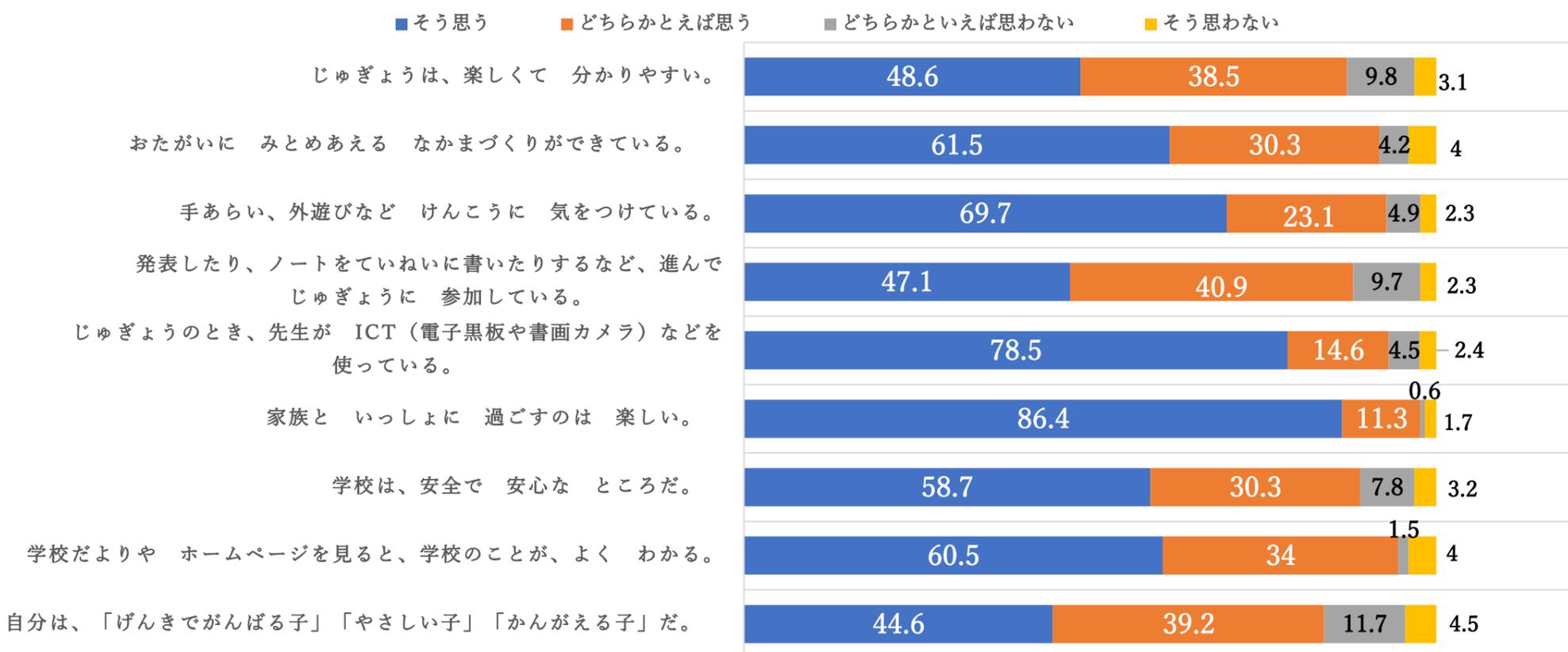
令和5年度 吉井小学校学校評価（前期）の結果報告について

初秋の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃から吉井小学校教育活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、7月に児童・保護者対象に学校評価を実施いたしました。たくさんの保護者の皆様にご協力いただき、誠にありがとうございました。評価の集計結果と考察を下記のとおりお知らせいたします。また、学校評価の結果を踏まえ、今後の本校の学校教育の改善につなげてまいります。今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

記

令和5年度 吉井小学校児童実態調査（7月）



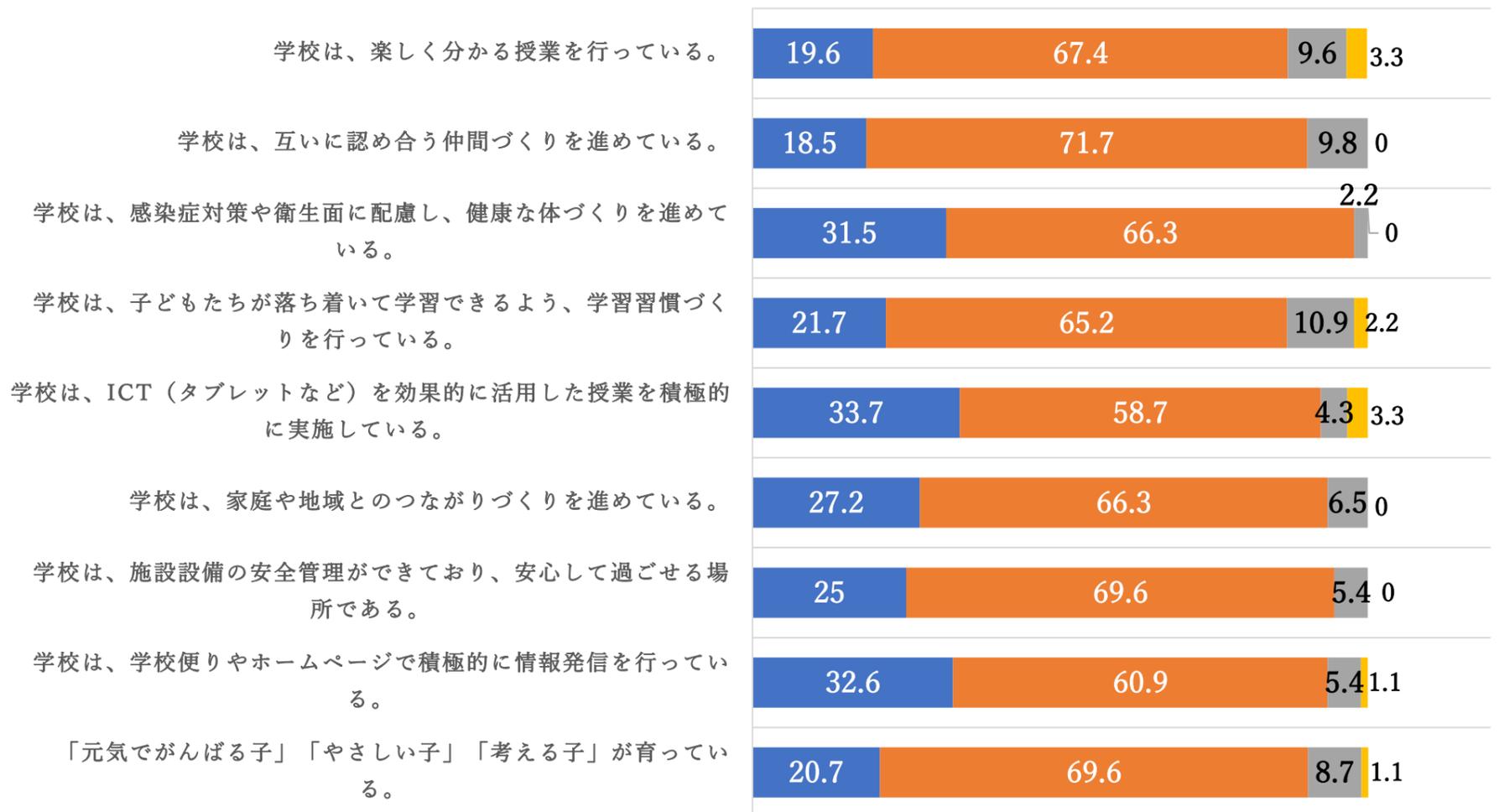
【考察】

児童への実態調査の結果は、「そう思う」・「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が昨年度後期に引き続き全体的に85%を超えている良好な結果です。特に「家族と一緒に過ごすのは、楽しい」では、「そう思う」・「どちらかといえばそう思う」と答えた児童が98%近くあり、保護者の方の回答でも多いことから、家族でのひとときが子どもたちにとって一番落ち着くことのできる場であることが分かります。ご家族との団らんの時間が、子どもたちの情意面を育て、落ち着いて学習に取り組むことのできる基盤になると考えています。今後とも学校であったことや、楽しかったこと、悩んでいることなどをお子さまと共有し、分かち合うことのできる場や雰囲気を作ってください、何かありましたら学校までお知らせいただきますようよろしくお願いいたします。他にも、子どもたちがタブレットを使っでの学習もずいぶん定着しはじめています。子どもが今必要な情報を取り出し学習に生かしたり、個別に対応した学習に取り組んだりすることによって達成感を持ちながら学習に取り組めると考えています。

課題としては、「自分は『げんきでがんばる子』、『やさしい子』、『かんがえる子』だ」という項目に、「そう思う」・「どちらかといえばそう思う」という回答が少ないということです。日頃の子どもの様子を見ると、授業中、真剣に考えて課題を解決しようとしていたり、友達と元気に外遊びをしたり、お友達のために思いやりのある行動をしたりする子が多くいることが分かります。今後更に安心・安全で気持ちのよい学校生活を送ることができ、「わかった！」「できた！」という達成感や成就感を味わうことのできるよう、授業改善に取り組んでいきます。そして、子どもたちが自信を持って進んで学習したり、よい行動をしたりすることができるようこれからも継続して声掛けを行っていきたいと思います。

## 令和5年度 吉井小学校保護者実態調査

■ そう思う    ■ どちらかといえば思う    ■ どちらかといえば思わない    ■ そう思わない



### 【考察】

今期も全体的に良好な結果をいただいています。多くの項目において、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」が85%を越えています。特に「学校は、感染症対策や衛生面に配慮し、健康な体づくりを進めている」では、日頃から子どもたちに、自分の命、友達の命を大切にしようという思いを持つことができるよう声掛けを行っています。保護者の方の思いや、子どもたちの回答結果からも分かるように、学校だけでなくご家庭でもこれから感染症対策に努めていただきますようお願いいたします。また、「学校は、家庭や地域とのつながりづくりを進めている」の項目では、来年度から始める「コミュニティ・スクール」のための地盤づくりとして、学校や家庭、地域社会を巻き込んでの絆づくりに今後も努めていきたいと思っております。ご協力をよろしくお願いいたします。

課題としては、「学校は、子どもたちが落ち着いて学習できるよう、学習習慣づくりを行っている。」という面で、ご心配をいただいております。よい学習習慣を身に付けることは子どもたちが自ら主体的に課題を解決していく原動力となります。今後、先行きが不透明な社会の中で、子どもたちが荒波に負けず将来たくましく生き抜いていくために必要な資質、能力を小学校段階でしっかりと身に付けさせたいと思っています。また、「やさしい子」に焦点を当て、どういうときに、どのような行為をすることが「やさしさ」につながるのか考えていきます。ご家庭でも様々な機会を捉えて「やさしい子」とは、どのような子なのか、どのようにすれば身に付くのか、考えていただくことで学校や家庭、地域社会とのつながりづくりに役立つのではないかと思います。

今後とも学校教育にご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。